

インプラントの潮流を考える

Osseointegration study club of Japan

オッセオインテグレイション・スタディクラブ・オブ・ジャパン

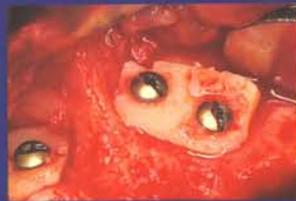
2ndミーティング 抄録集

編

岡田隆夫

執筆 (五十音順)

上田秀朗
大村祐進
小川洋一
小濱忠一
菅井敏郎
鈴木真名
筒井昌秀
夏堀礼二
西村 眞
波多野尚樹
本多正明
増田長次郎
三次正春
宮本泰和
山下恒彦





会長 岡田隆夫

2004年、社会は急激な変化を見せています。「もし今、この時代に生き残るものがあるとすれば、それはそのグループの中で一番優れているものではなく、変化することができるものであり、それ以上に変化し続けていくことができるものである」は、ダーウィンの言葉です。本当にその通りでしょう。

日本経済もようやく新しい風が吹き始め、「上向く」と予想する機関が増えてきました。しかしながら、その反面、業種や企業間における二極化が拡大するとも言われています。

歯科界、ことインプラント分野におきましても、同様に新しい流れが押し寄せてきています。

現在、OJを通じて、私はこのような大きな流れをひしひしと感じます。一つは、素晴らしいスピードで知識や技術を習得されている若い先生方の勢い。もう一つは「より美しく」「より早く」治療することを求めて次々と報告される新しいテクニックや考え方。非常に面白く、興味深いことです。

しかしながら、後者に関しては注意も必要です。流れが急になればなるほど、私たち臨床家は、しっかりとした冷静な目でその流れがどのような結果を出していくかを考えなければなりません。もちろん、新しい報告に期待し、より高さを追求することは大切です。けれども、それらを冷静に見極める目がなければ、「より患者さんのために」「より安全に」「より長期に」「よりやさしく」の医療の精神を外れる危険性もはらんでいます。

患者本位の治療を提供していくこと、これがもっとも大切でしょう。

2002年5月の1stミーティング後、Osseointegration study club of Japanは略称をOJと改称し、アグレッシブに活動しています。

2003年2月11日に行われた、OJミッドウィンターミーティングでは、全国の若い先生方に発表いただき、次の6つの項目でOJ正会員が各5段階評価いたしました。

- ・発表は教育的な内容で有益な情報を多く含んでいたか。
- ・科学的根拠に基づいた内容か。
- ・治療内容の診断および治療計画は適切か。
- ・臨床に応用できる新しいアイデアや技術を含んでいるか。
- ・プレゼンテーションの構成および発表の技術は良いか。
- ・治療技術・審美性・インプラント以外の分野の治療の評価。

2003年5月31日、6月1日の2ndミーティングでは、前述のミッドウィンターミーティングで選ばれた先生方と、OJファウンダーおよび役員の方の先生方の中から演者を決定、素晴らしい講演をいただきました。本書は、その講演の内容をまとめたものです。

本会が、若い先生方の勉強の場となり、世界に羽ばたくための足がかりとなっていただければと思います。そして、素晴らしい臨床家の先生方が、世界に向けて発信できる場を作ることは、私どもの責務であると考えます。

本書や本会を利用して、多くのことを学ばれ、各々の患者に最善の治療を提供していただけることを切に念じて、序の言葉とします。

CONTENTS

会員発表



教育講演



-
- 審美的インプラント補綴における問題点
—上顎中切歯手術における臨床的考察—
小川洋一 10

 - インプラント周囲組織のマネージメント
—審美的歯周組織の獲得を考える—
鈴木真名 16

 - 骨延長を利用した歯槽堤増大術
三次正春 24

 - 審美的な補綴治療をめざして
大村祐進 32

 - インプラント周囲炎の対策と治療
夏堀礼二 38

-
- 満足のいく治療結果を得るための
デシジョンメイキング
西村 眞 46

 - インプラント治療における歯周病的配慮
宮本泰和 54

- ◆ インプラント治療における補綴設計の
デシジョンメイキング
上田秀朗 **62**
- ◆ インプラント審美修復における3つの
キーポイント—それを踏まえた1回法抜歯後
即時埋入インプラントの臨床応用—
小濱忠一 **72**
- ◆ インプラント治療の変遷と新たな潮流
菅井敏郎 **82**
- ◆ インプラント審美修復の潮流Ⅳ
山下恒彦 **90**
- ◆ インプラント外科の歩みと展望
—開業医の現場で—
波多野尚樹 **96**
- ◆ インプラント補綴と咬合
—咬合のリスクファクター—
本多正明 **106**
- ◆ 包括歯科臨床におけるインプラントの役割
—トップダウントリートメントとチームワークの重要性—
筒井昌秀、増田長次郎 **116**



シンポジウム

